

令和5年度 第2回 山形のみちづくり評議会

日時：令和6年1月16日（火）14:00～15:30

場所：山形県自治会館 4階 401号会議室

次 第

1. 開 会

2. 挨 拶

3. 議 事

山形県道路中期計画2028の見直しについて

4. 閉 会

令和5年度 第2回 山形のみちづくり評議会委員 出席者名簿

	氏 名	役 職	地 区	出 欠	備 考
会 長	柴田 洋雄	山形大学名誉教授	全県	○	(会場)
委 員	貝山 道博	埼玉大学名誉教授 東北文化学園大学名誉教授	全県	○	(会場)
	森 徹	NHK山形放送局 局長	全県	-	
	塩原 未知子	有限会社テンプレス アートディレクター	村山地域	○	WEB
	柴田 薫	わらべ唄の宿 湯の原 女将	最上地域	-	
	宮原 博通	株式会社 和のくらし文化研究所 代表取締役	置賜地域	○	(会場)
	鈴木 裕士	鶴岡銀座商店街振興組合 理事長	庄内地域	○	WEB
	工藤 亜紀子	エイエスエムトランスポート株式会社 代表取締役	庄内地域	○	WEB
	宇留野 武見	東日本高速道路株式会社東北支社 山形管理事務所 所長	全県	○	(会場)
	森田 裕介	国土交通省東北地方整備局 山形河川国道事務所 所長	全県	○	(会場)
	小林 寛	山形県県土整備部 部長	全県	○	(会場)

(敬称略)

山形県道路中期計画2028【改定原案】(概要版)

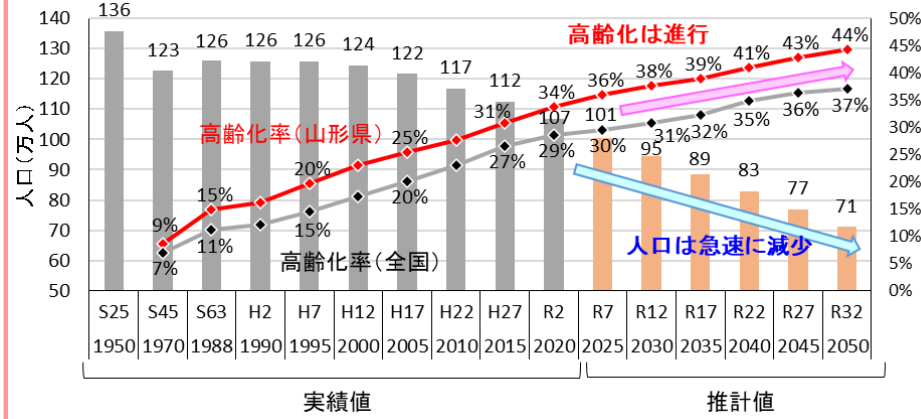


1. 山形県のみちづくりを取巻く現状・社会的な背景

① 少子高齢化を伴う人口減少が加速

- 山形県の人口は今後も加速度的に減少
- 「超高齢社会※」のなか、高齢化はさらに進行

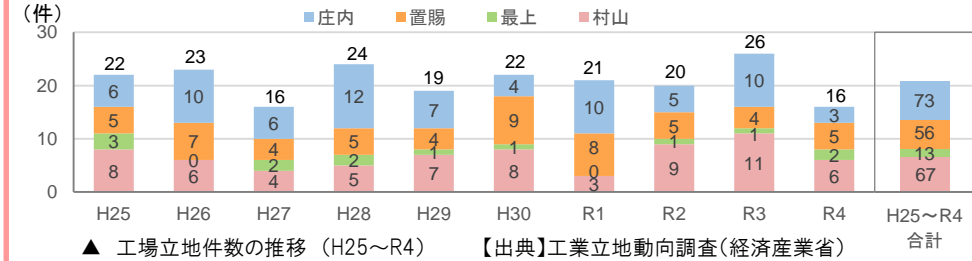
※ WHO(世界保健機構)の定義で、65歳以上の高齢化率21%以上の状態をいう。
なお、「高齢化社会」は7%以上、「高齢社会I」は14%以上。



【出典】2020年まで総務省「国勢調査」
2025年以降 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

② 産業の動向

- 《製造業》
- 新規工場立地が概ね堅調に推移
- 製造品出荷額は震災等による減少から回復し一定の水準を維持

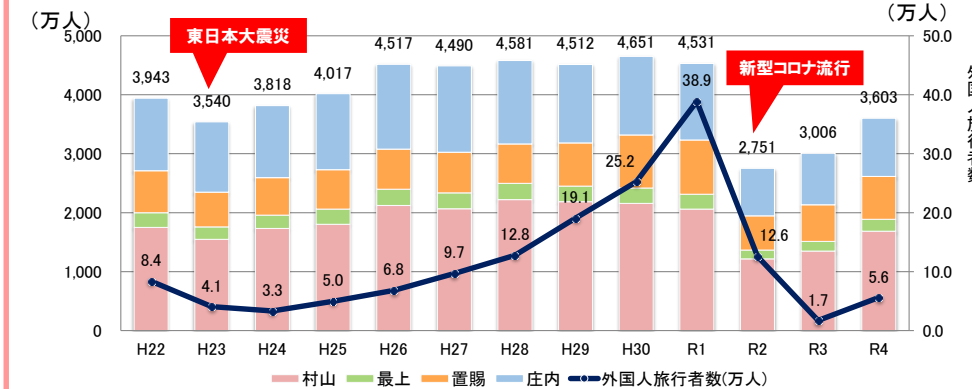


▲ 工場立地件数の推移 (H25~R4) 【出典】工業立地動向調査(経済産業省)

- 《観光産業》
- 県内観光客数が新型コロナ流行に伴い大幅減少も回復傾向 (外国人旅行者数は震災前の4倍以上に増加後に大幅減少)

- 本県の自然や文化、食などの地域資源の高付加価値化や戦略的な誘客等の取組を推進

- 酒田港外航クルーズ船寄港、県内空港の国際チャーター便増便後、新型コロナ流行により減少

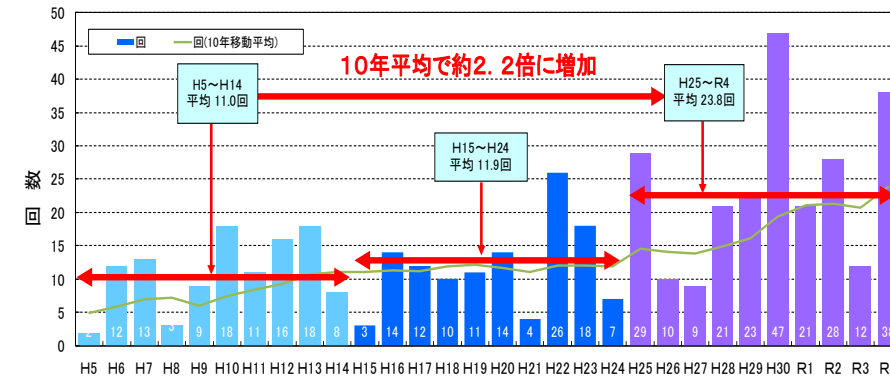


▲ 県内観光客数、外国人旅行者数の推移 【出典】山形県観光客数調査、外国人旅行者受入実績調査

- 《物流》
- 県内の輸送機関別輸送量は9割以上が自動車による輸送
- 酒田港の定期コンテナ航路の取扱量が増加後、近年減少傾向

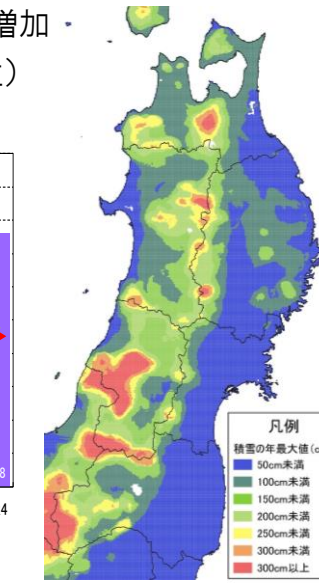
③ 地球温暖化等地球規模の気象変動・環境変化

- 局所的な被害をもたらす集中豪雨の多発化、災害発生が増加
- 本県の76%が特別豪雪地帯に指定 (指定割合:東北1位)



▲ 時間雨量30mm以上※を観測した県内の年間の気象庁観測地点数と最大時間雨量
【出典】山形地方気象台の観測データを基にした山形県まとめ

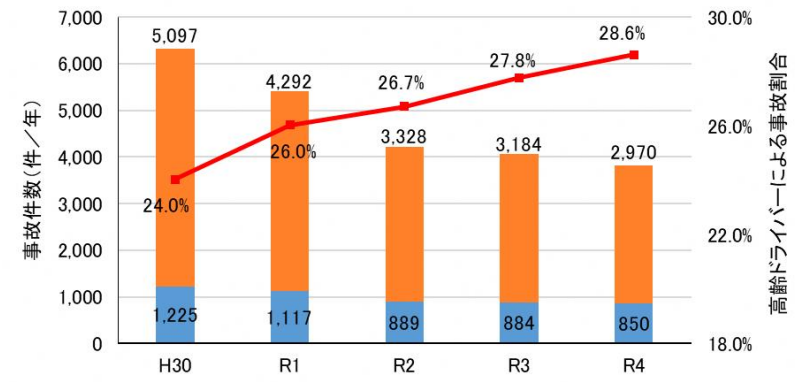
※北村山、庄内南部、最上の大雨注意報発令基準30mm/h以上を参考に基準設定して検証
(参考) 東南村山・西村山・庄内北部は40mm/h以上、東南置賜・西置賜は35mm/h以上、それぞれ他に3時間降水量の基準あり



▲ 年最深積雪 メッシュ平均年地図 (統計期間:1992年~2022年)
【出典】国土数値情報年値メッシュデータ

④ 道路交通の状況

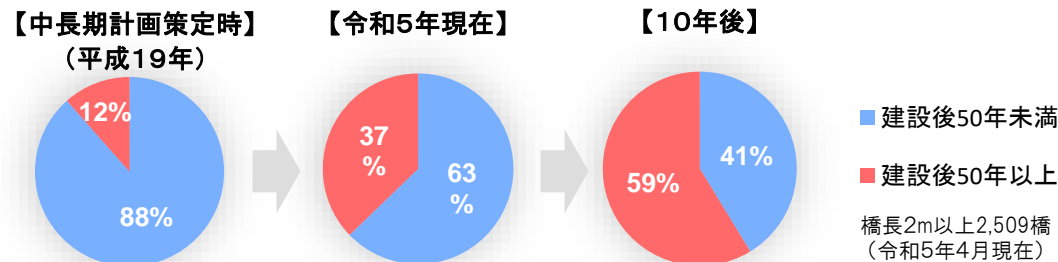
- 通勤・通学における高い自家用車依存 (自家用車通勤・通学割合は全国1位)
- 幹線道路の交差点や市街地を中心に渋滞が発生
- 交通事故の発生状況
 - ・県内の事故発生件数は近年減少傾向
 - ・一方で、高齢ドライバーによる事故発生の割合が増加 (高齢ドライバーの自動車運転免許証の返納数も増加後一定水準で推移)
 - ・全国で登下校中の児童・生徒を巻き込む交通事故が後を絶たない



▲ 県内の交通事故発生件数と高齢ドライバーによる交通事故発生割合 【出典】交通事故総括表(山形県警察本部)

⑤ 道路施設の老朽化が進行

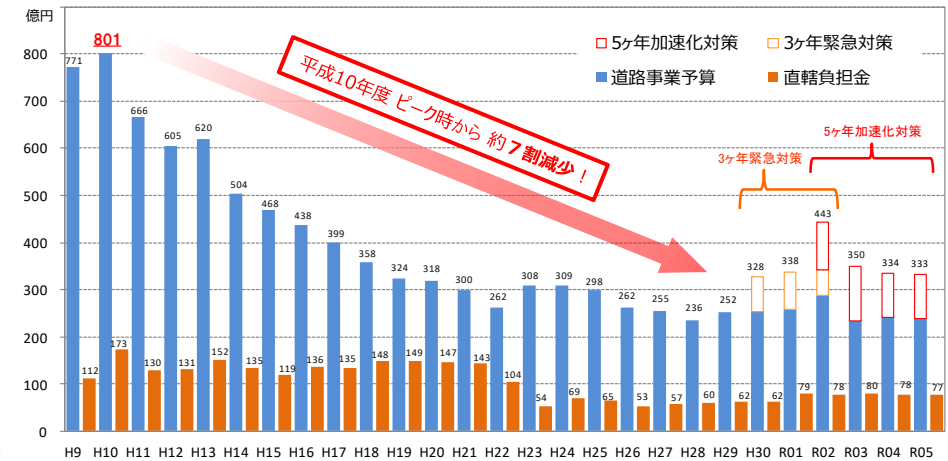
- 高度経済成長期に整備された橋梁・トンネル等の道路施設の老朽化が進行



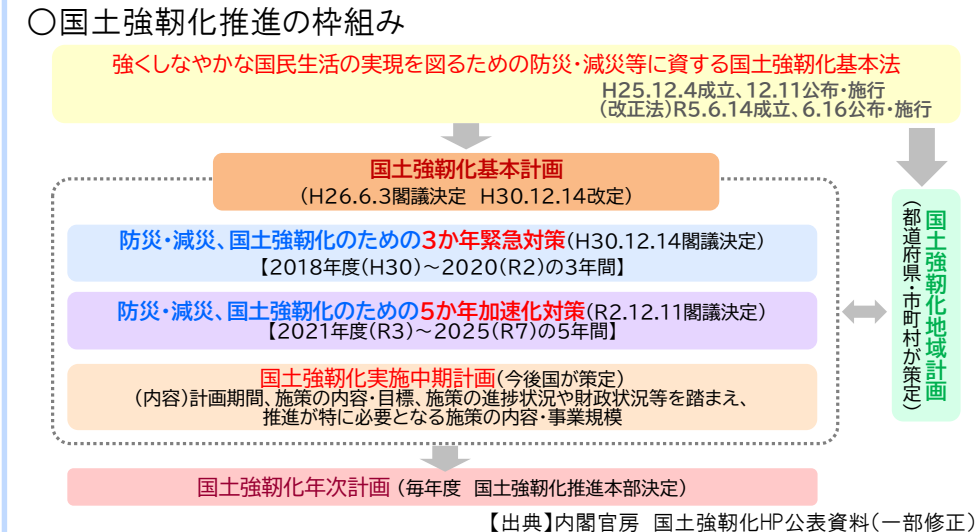
▲ 老朽橋梁数の推移(見込み) 【出典】山形県資料

⑥ 社会保障関係費の増によるインフラ投資の圧縮

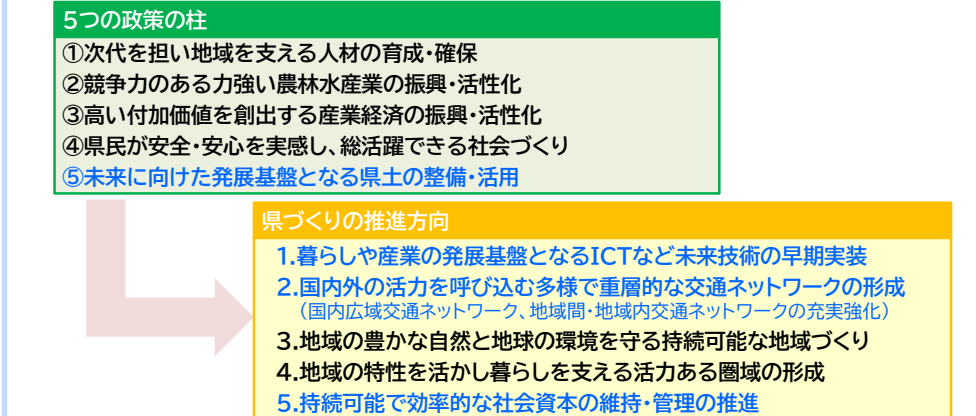
- 山形県の道路関係予算は平成10年度をピークに約7割の減少
- 事業費の減少に伴う事業の長期化



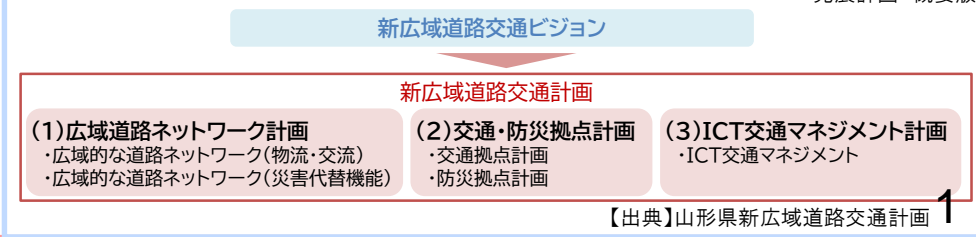
山形県のみちづくりに関係する新たな動き



第4次山形県総合発展計画(令和2年3月策定)



山形県新広域道路交通計画(令和3年7月策定)

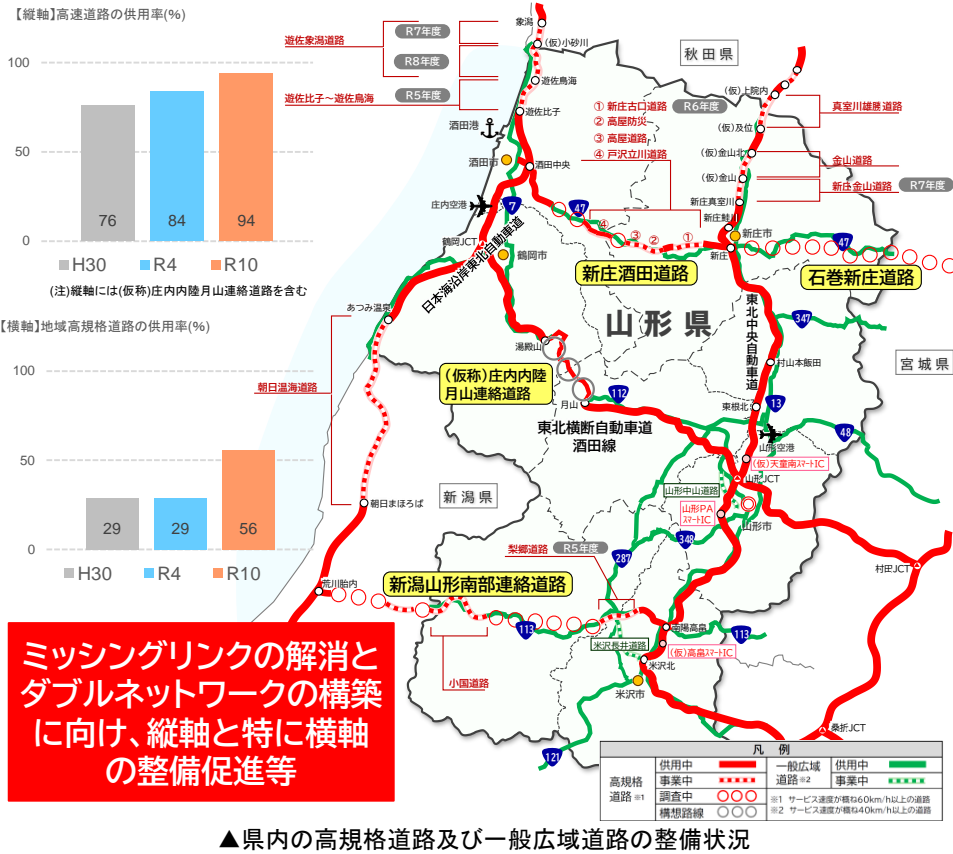


【出典】山形県新広域道路交通計画

山形県道路中期計画2028【改定原案】(概要版)

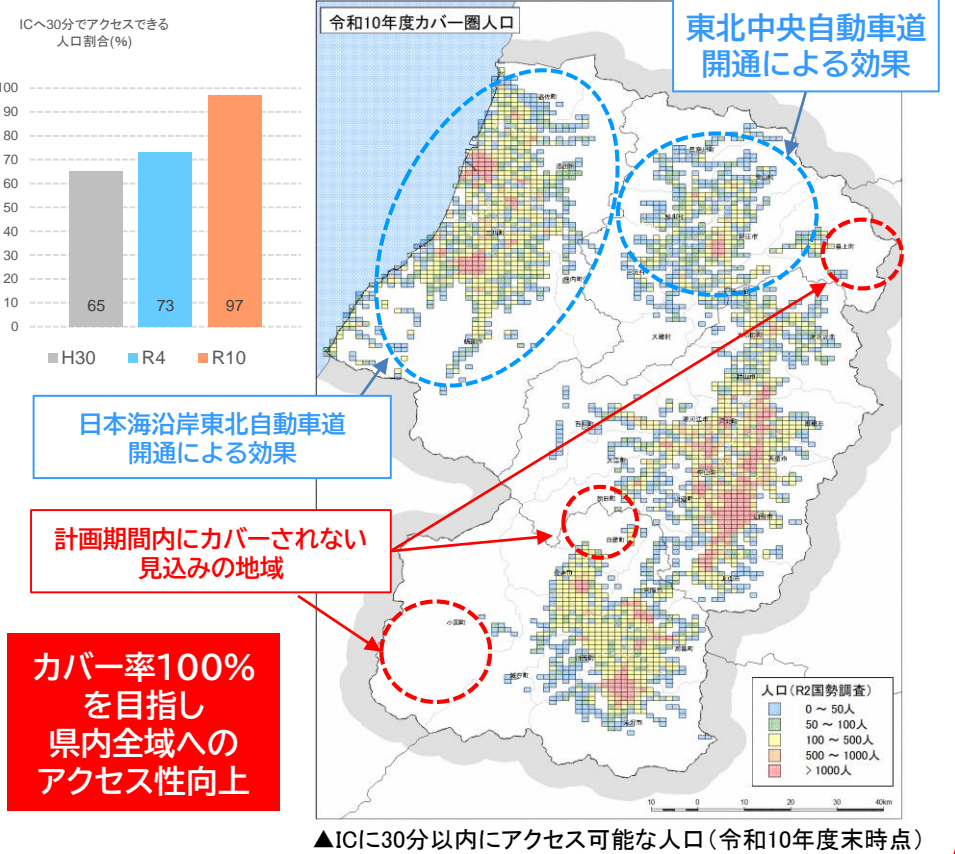
2. 計画策定後に顕在化した課題等

施策① 関連 【1】「縦軸」整備の進展と「横軸」整備への期待



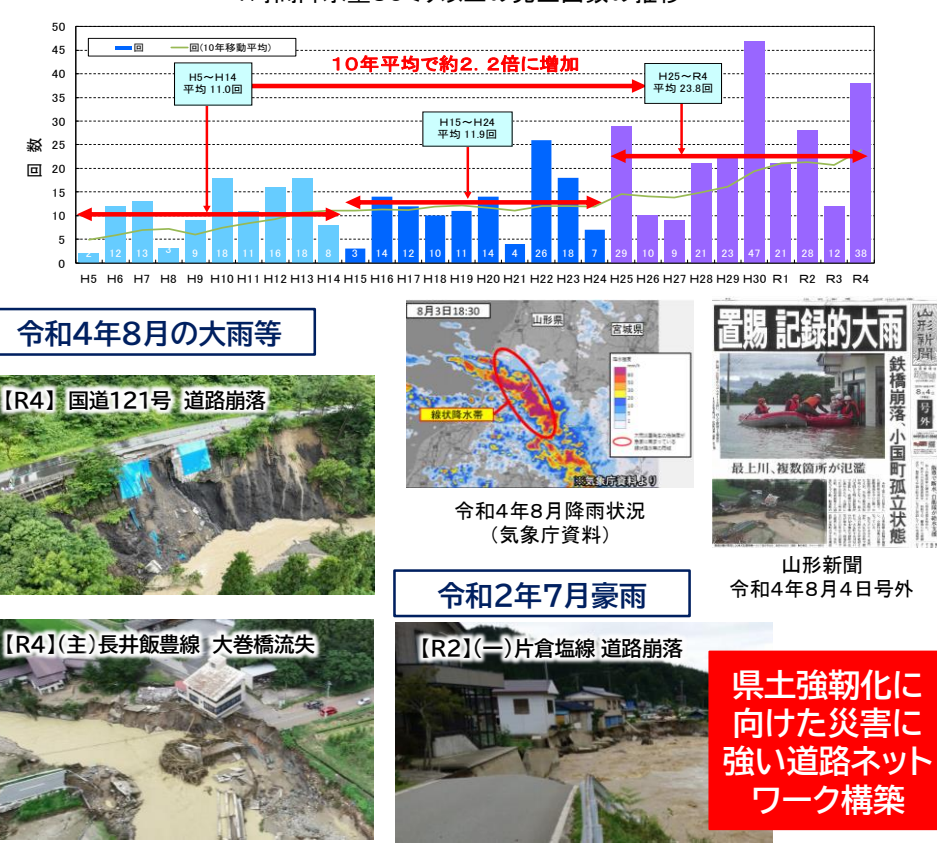
ミッシングリンクの解消とダブルネットワークの構築に向け、縦軸と特に横軸の整備促進等

施策② 関連 【2】ICへのアクセス性が低い地域の存在

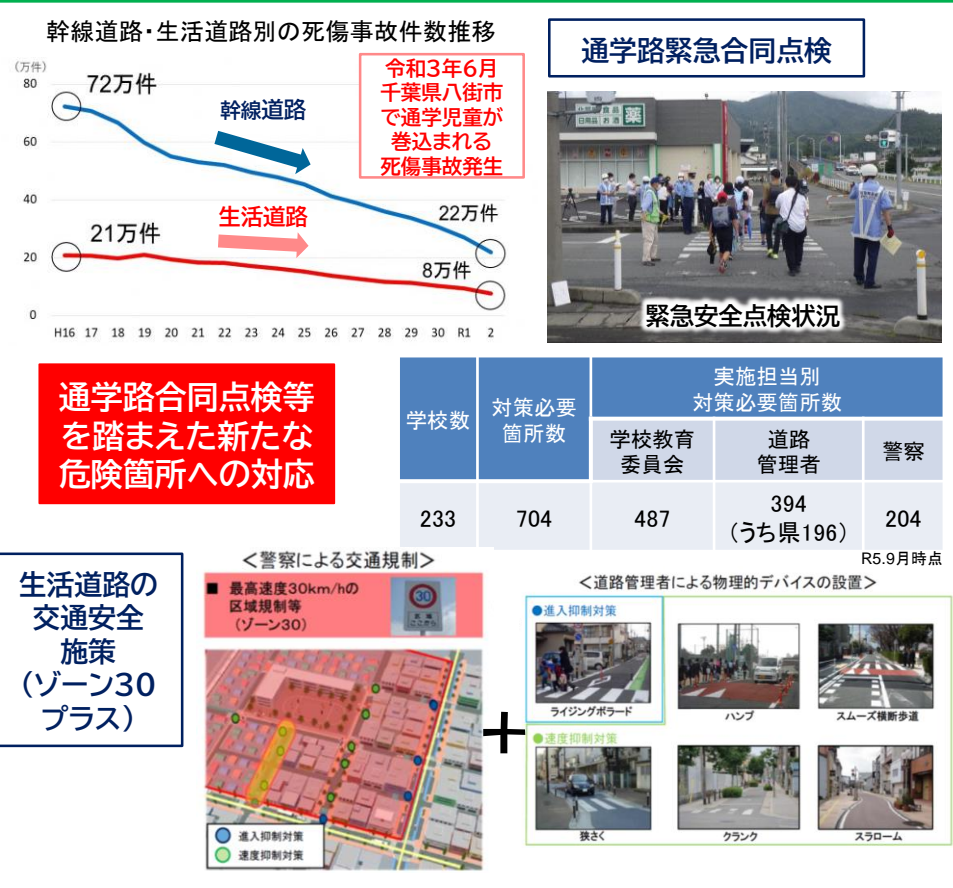


カバー率100%を目指し県内全域へのアクセス性向上

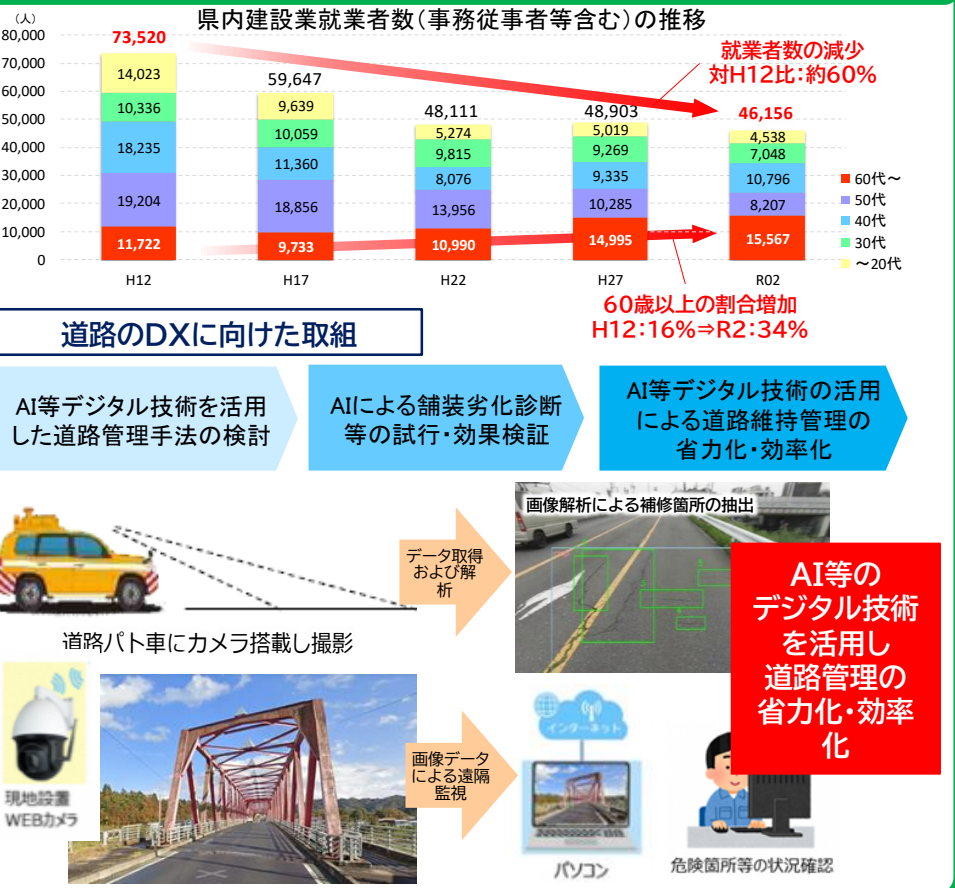
施策④ 関連 【3】激甚化・頻発化する豪雨災害



施策⑤ 関連 【4】全国で繰り返される通学児童の死傷事故



施策⑥ 関連 【5】建設業界における高齢化・担い手の減少



施策⑨ 関連 【6】自転車走行環境が十分に確保されていない





3. 県政アンケートの結果概要

○調査概要

調査方法

調査地域	山形県全域
調査対象	県内在住の満18歳以上の男女個人
調査方法	郵送によるアンケート調査
調査期間	令和5年8月～令和5年9月
調査数	2,396件

○【結果】重要だと考える施設

※5つまで選択可能

・「道路」を重要と考える回答が最も多く、前回調査時から約7%増加。

	H29	R5
1位	医療機関 44.8%	道路(高速道路、国道・県道等) 44.0%
2位	道路(高速道路、国道・県道等) 37.1%	医療機関 36.6%
3位	高齢者や障がい者のための福祉施設 35.7%	高齢者や障がい者のための福祉施設 30.8%

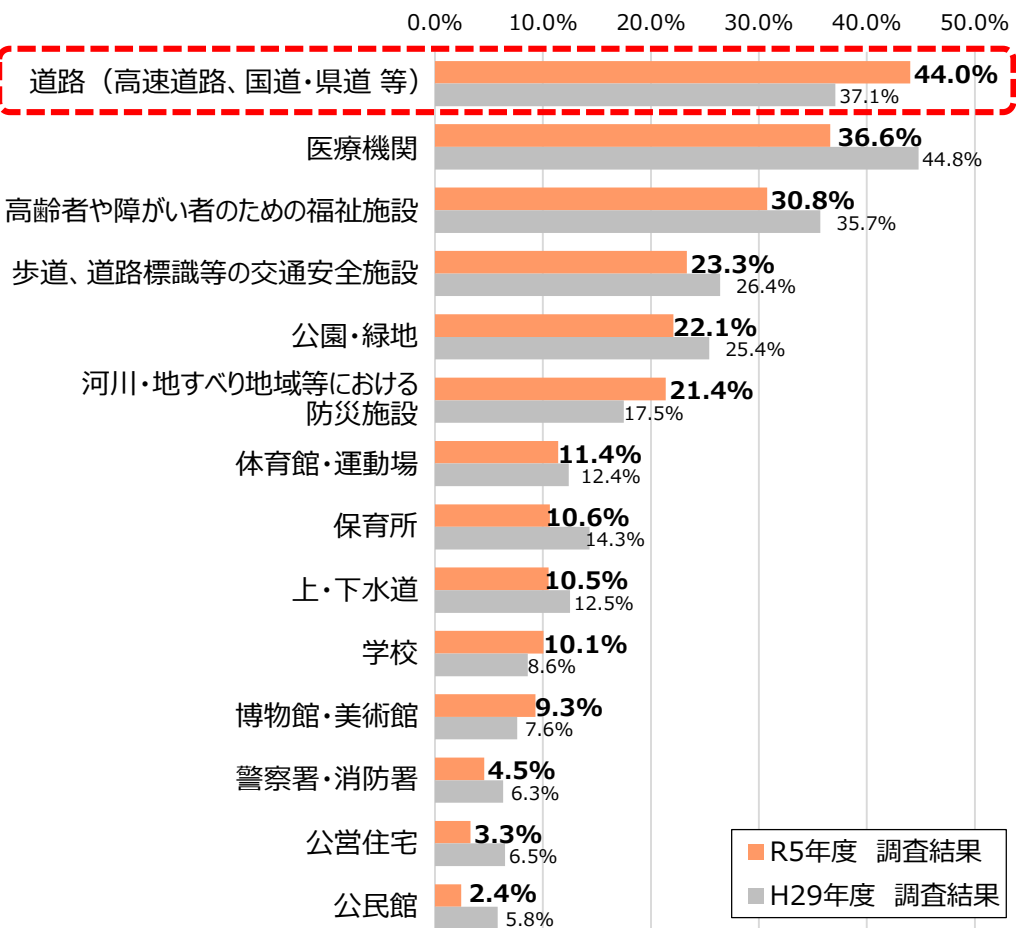
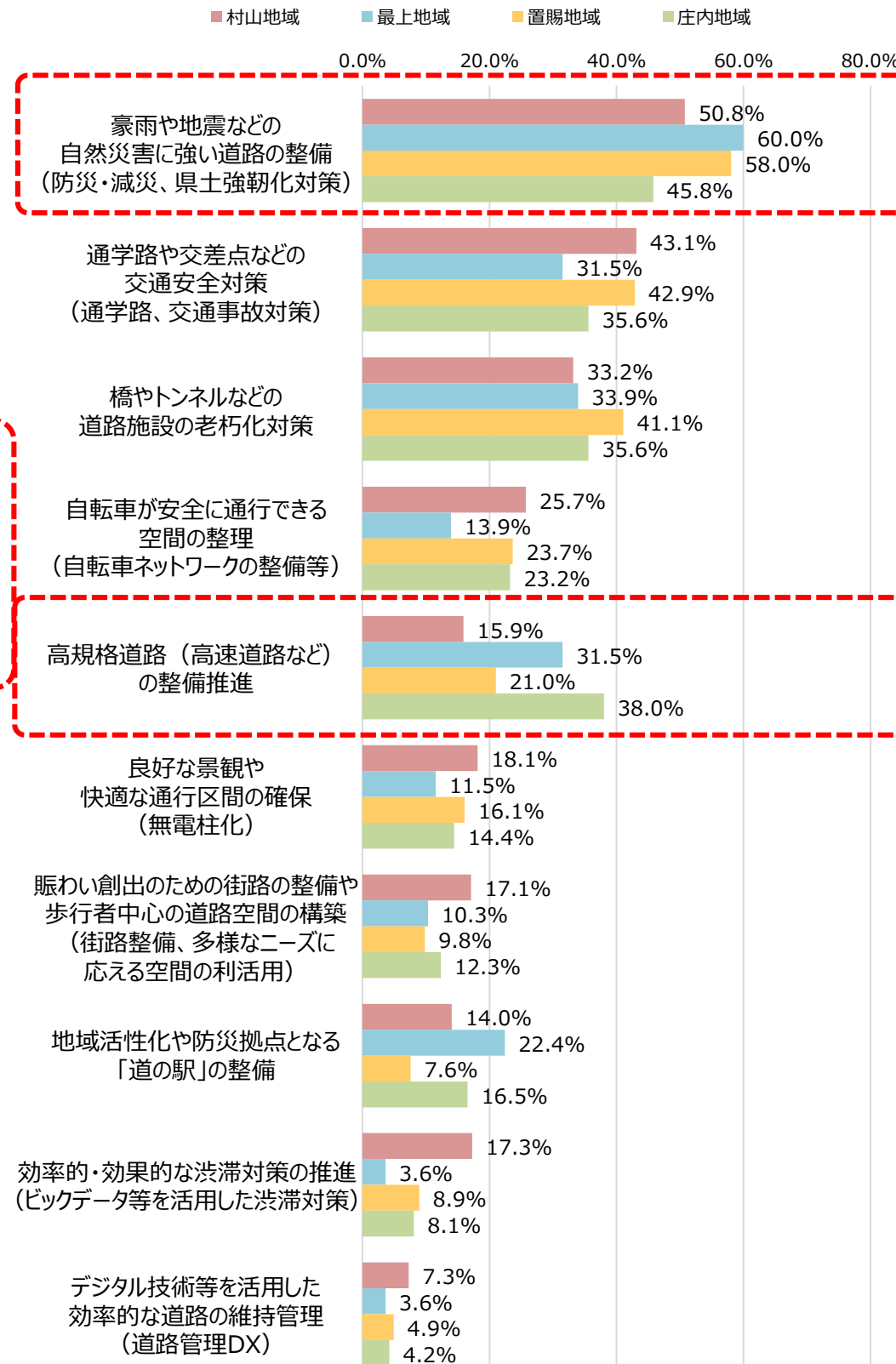
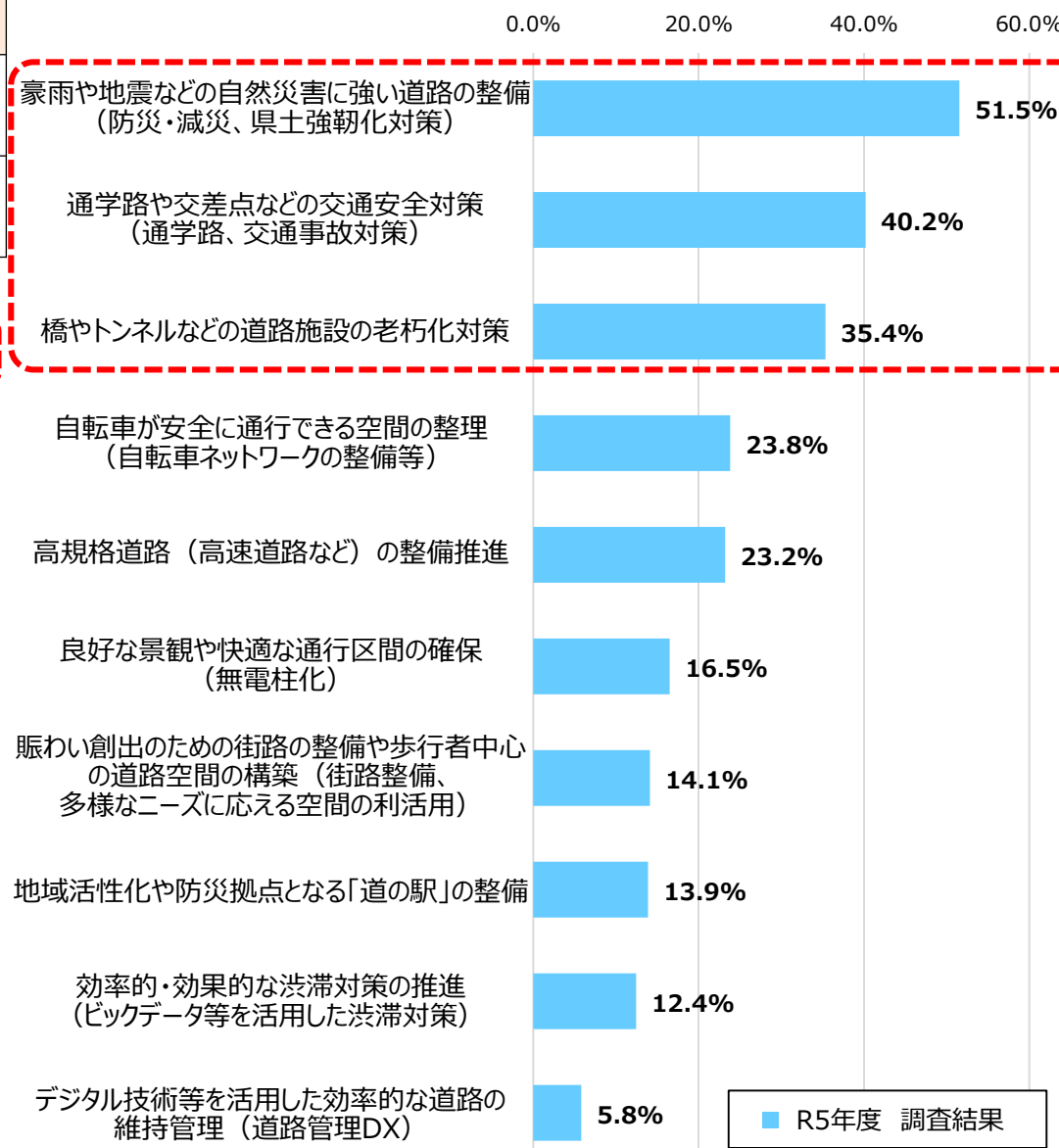
○【結果】優先的に推進してほしい道路施策

- ・「自然災害に強い道路」を選んだ回答が51.5%と最も多い。
- ・次点で「通学路等の交通安全対策」、「道路施設の老朽化対策」と続く。

	R5
1位	豪雨や地震などの自然災害に強い道路の整備(防災・減災・県土強靱化対策) 51.5%
2位	通学路や交差点などの交通安全対策(通学路、交通事故対策) 40.2%
3位	橋やトンネルなど道路施設の老朽化対策 35.4%

※いくつかでも選択可能、H29調査時と選択肢が異なる

- ・近年豪雨災害の被害が大きい最上地域や置賜地域では、「災害に強い道路」の回答割合が高い。
- ・最上地域や庄内地域では、「高規格道路の整備推進」の回答割合が高い。



※ その他、特になし、わからない、無回答は非表示



4. 課題等を踏まえた基本方針・施策概要等

計画策定後に顕在化した課題等

- 【1】「縦軸」整備の進展と「横軸」整備への期待**
○ミッシングリンクの解消とダブルネットワークの構築に向け縦軸と特に横軸の整備促進等
- 【2】ICへのアクセス性が低い地域の存在**
○カバー率100%を目指し、県内全域へのアクセス性向上
- 【3】激甚化・頻発化する豪雨災害**
○県土強靱化に向けた災害に強い道路ネットワーク構築
- 【4】全国で繰り返される通学児童の死傷事故**
○通学路合同点検等を踏まえた新たな危険箇所への対応
- 【5】建設業界における高齢化・担い手の減少**
○AI等のデジタル技術を活用し道路管理を省力化・効率化
- 【6】自転車走行環境が十分に確保されていない**
○安全で快適に自転車を利用できる環境の創出

県民の望むみちのあり方(県政アンケート)

①居住地域の生活環境をよくするために重要な施設

	H29	R5
1位	医療機関 44.8%	道路(高速道路、国道・県道等) 44.0%
2位	道路(高速道路、国道・県道等) 37.1%	医療機関 36.6%
3位	高齢者や障がい者のための福祉施設 35.7%	高齢者や障がい者のための福祉施設 30.8%

②優先的に推進してほしいと考える道路の施策

	H29	R5
1位	誰もが使いやすいユニバーサルデザイン(歩道の段差・傾きの解消等) 36.4%	豪雨や地震などの自然災害に強い道路の整備(防災・減災、県土強靱化対策) 51.5%
2位	平時の安全対策(落石、雪崩、地吹雪等の対策) 33.9%	通学路や交差点などの交通安全対策(通学路、交通事故対策) 40.2%
3位	大規模災害等の非常時に備えた安全対策(緊急輸送道路) 31.3%	橋やトンネルなど道路施設の老朽化対策 35.4%
4位	安全な自転車通行空間(自転車専用レーン等) 21.5%	自転車が安全に通行できる空間の整備(自転車ネットワークの整備等) 23.8%
5位	良好な景観(無電柱化、緑化空間の確保、遠景への配慮等) 19.2%	高規格道路(高速道路など)の整備推進 23.2%

※H29は「重視すること」についての設問

みちづくり評議会での意見

- 広域道路ネットワークについて
 - ・県外から来訪する観光客も多く、鉄道路線の代替性の観点からも国道47号などの横軸道路の重要性は高い。
 - ・県の南北方向は移動しやすいが、東西方向の移動は時間を要し、走行時に危険を感じる。横軸道路についても整備を図ることが重要である。
- 観光・物流について
 - ・インバウンド客は歴史の道をたどるツアーが人気で、時間をかけて地域を巡る人も多く、観光拠点での歩道整備も必要である。
 - ・2024年問題が迫る中、物流にとってミッシングリンクの解消は必要不可欠であり、安全性、利便性や速達性を確立した道路が必要である。
- まちなかにおける道路について
 - ・まちづくりの観点では、歩行空間の活用が重要であり、街中に来てもらうような施策も重要である。
 - ・高齢者等の移動手段確保と地域活性化の観点では、道路空間再配分等による自転車走行環境の整備も必要である。
- その他
 - ・温泉熱を活用した融雪設備の整備は良い取り組み事例。再生可能エネルギーの利活用を今後検討いただきたい。

基本方針 (将来像・3つの柱・9つの施策)

《将来像》 ヒト・モノの交流を促進し山形の未来を拓くみちづくり

(活力創造・広域交流促進)
【柱1】県内産業や観光の振興を支える社会基盤となるみちづくり

【施策①】県土の基盤となる広域道路ネットワークの整備促進・機能強化と未事業化区間の着手

- i) ミッシングリンクの早期解消による高規格道路と直轄国道等とのダブルネットワークの構築に向け、縦軸と特に横軸の整備促進と未事業化区間の事業化に向けた調査促進
- ii) 「重要物流道路(基幹道路)」の整備促進及び国際海上コンテナ車の通行に対応した構造不適合箇所・ぜい弱箇所の機能強化の促進
- iii) 高規格道路網や幹線道路の重大事故の防止を図る効果的な交通安全対策の促進

【施策②】広域道路ネットワークを活かす追加IC(スマートIC含む)及びICや拠点へのアクセス道路の整備推進

- i) 高規格道路を利用しやすい環境整備を図るため、追加ICやスマートICの整備を促進
- ii) 県内全域へのアクセス性向上に向け、高速道路など高規格道路のIC等に接続するアクセス道路の整備を推進
- iii) 重要物流道路の基幹道路同士や物流拠点を結ぶアクセス道路の整備推進

【施策③】高規格道路から県内各地へのゲートウェイとなる「道の駅」等への支援

- i) ゲートウェイとなる「道の駅」等の整備促進に向けた市町村の取組を支援
- ii) 公共交通の交通結節点としての機能を持ち、活気あふれる「道の駅」の機能強化を支援
- iii) 地域の防災拠点となる「道の駅」の機能強化と防災機能の周知

(安全・安心・保全・協働)
【柱2】災害を未然に防止し安全・安心に利用できるみちづくり

【施策④】防災・減災、県土強靱化に向けた道路の機能強化と災害発生時における対応の迅速化

- i) 「緊急輸送道路」や「重要物流道路」とともに指定される「代替路」や「補完路」について、道路ネットワークの強化のため、橋梁の耐震化等を優先的に実施
- ii) 道路の防災対策の推進
- iii) 県土強靱化に向けた、災害に強い道路ネットワークの整備推進
- iv) 災害発生時における迅速かつ正確な交通規制・迂回路等の情報提供、孤立解消に向けた迅速な応急復旧等の実施

【施策⑤】人にやさしく安全・安心な道路整備に向けた多様な取組の推進

- i) 子ども達の通学路の安全確保に向け、通学路合同点検等を踏まえ、歩道設置やゾーン30プラス等の交通安全対策を推進
- ii) 進行する高齢化を見据え、子どもだけでなく高齢者や障がい者にも優しい歩行空間を創出(無電柱化による障害物除去、段差解消等)
- iii) 限られた予算内で広く効果を発現できるよう、多様な交通安全対策を実施(側溝整備等による幅広路肩の整備、路肩や交差点のカラーリング、植樹帯除去による道路空間の再配分など)

【施策⑥】予防保全型維持管理等による計画的な道路施設の長寿命化と効率的な道路維持管理の推進

- i) 高度成長期に集中的に整備した橋梁の長期的な維持管理コスト縮減、予算の平準化を推進
- ii) トンネル等大型構造物について、効果的・効率的な維持管理を実施
- iii) 舗装、雪寒施設等の道路施設について、計画的な維持管理を実施
- iv) 建設業界においても深刻化している高齢化や担い手不足下であっても、道路の適切な日常管理や除雪、災害対応等による円滑な交通を確保するため、AI等のデジタル技術を活用した維持管理の省力化・効率化を推進
- v) 地域や企業、NPO等の力を活かした県民協働による効率的な維持管理を実施

(地域活性化・快適・効率化)
【柱3】既存ストックを有効活用し快適な暮らしと地域の活力を生み出すみちづくり

【施策⑦】生活圏間・都市間ネットワーク及び生活幹線道路の整備推進

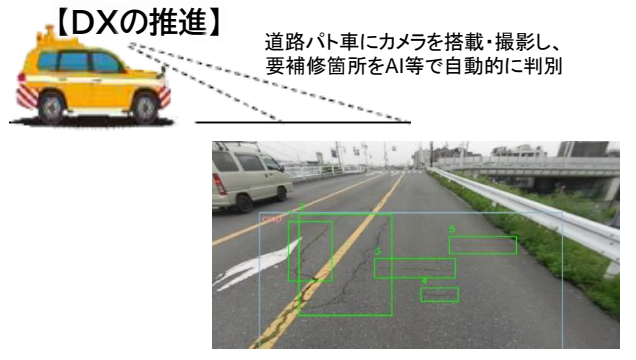
- i) 一般国道や主要な県道において道路の改築・拡幅やバイパスの整備を推進
- ii) 地域の実情に応じた効率的な整備を推進(交通量の少ない道路の部分的な拡幅や待避所の設置、屈曲部の視距改良など)

【施策⑧】街なかには賑わいを創出するみちづくりの推進

- i) 都市部における街路事業の整備を推進
- ii) 良好な景観を創出する無電柱化や賑わい空間形成に向けた取組を推進
- iii) バイパスの整備や交差点改良等による渋滞対策を推進するとともに、最新データや地域の実際の交通状況を踏まえ主要渋滞箇所の見直しを実施

【施策⑨】山形の特性を活かした道路ストック(施設)をかしこく使うみちづくりの推進

- i) 自転車ネットワーク計画を踏まえた自転車利用環境の整備に向け、自転車通行帯としても利用できる冬季の堆雪幅を確保した“山形らしい”みちづくりを推進
- ii) 県外・国外からの来訪者にも分かりやすい道路標識の整備を推進
- iii) プローブ情報を用いた渋滞対策・交通安全対策の検討及び実施



施策① 県土の基盤となる広域道路ネットワークの整備促進・機能強化と未事業化区間の着手

I 取組方針

- i) ミッシングリンクの早期解消による高規格道路と直轄国道等とのダブルネットワークの構築に向け、縦軸と**特に横軸の整備促進と未事業化区間の事業化に向けた調査促進**
- ii) 「重要物流道路(基幹道路)」の整備促進及び国際海上コンテナ車の通行に対応した構造不適合箇所・せい弱箇所の機能強化の促進
- iii) 高規格道路網や幹線道路の重大事故の防止を図る効果的な交通安全対策の促進

II 主な取組内容

i) 高規格道路網の事業区間の供用及び計画区間の事業化を促進	
取組内容	路線(区間)
縦軸	整備促進・供用開始 ① 東北中央自動車道 新庄真室川IC～秋田県境 L=約12.3km ② 日本海沿岸東北自動車道 新潟県境～あつみ温泉IC L=約6.7km 遊佐鳥海IC～秋田県境 L=約8.0km
	更なる利便性向上の検討 暫定2車線区間の4車線化、追越レーンJCTやハーブICの機能強化
横軸	整備促進・供用開始 ① 新潟山形南部連絡道路 小国道路 L=約10.6km ② 新庄酒田道路 新庄古口道路 L=約6.0km 高屋道路 L=約3.4km 高屋防災 L=約4.4km 戸沢立川道路 L=約5.8km
	事業化・調査促進 ① 新潟山形南部連絡道路 小国～飯豊間(計画段階評価中区間) 小国町松岡～長井市今泉(小国～飯豊間を除く) ② 新庄酒田道路 戸沢村高屋～草薙間 庄内町狩川(立川)～廻館(余目)間 ③ 石巻新庄道路 宮城県境～新庄IC ④ 東北横断自動車道酒田線 月山IC～湯殿山IC L=約21km
ii) 重要物流道路(基幹道路)の整備促進、機能強化 国道112号(山形中山道路、山形南道路) など	
iii) 高規格道路等の重大事故の防止を図る効果的な交通安全対策の促進 対面2車線での暫定供用区間における正面衝突事故防止対策(区画柵等)の促進 誤侵入・逆走防止のための路面標示 など	



▲新庄酒田道路 戸沢村古口付近



▲新潟山形南部連絡道路 飯豊町付近

施策② 広域道路ネットワークを活かす追加IC(スマートIC含む)及びICや拠点へのアクセス道路の整備推進

I 取組方針

- i) 県民及び来訪者の高規格道路を利用しやすい環境整備を図るため、追加ICやスマートICの整備促進
- ii) 県内全域へのアクセス性向上に向け、高速道路など高規格道路の**IC等に接続するアクセス道路の整備**を推進
- iii) 重要物流道路の基幹道路同士や物流拠点を結ぶアクセス道路の整備推進

II 主な取組内容

- i) 追加IC・スマートICの整備促進
○高規格道路の供用開始に合わせた追加ICやスマートICの整備促進
・天童南スマートIC(仮称) ・高島スマートIC(仮称) など
- ii) **ICアクセス30分圏域の拡大に向け、ICアクセス道路等の整備推進**
・(国)287号(東根市羽入) ※東根IC ・(国)287号(長井市館町南外) ※梨郷道路
・(主)山形山辺線(山形市城西町) ※山形中央IC・山形中山道路・山形南道路 など
- iii) 重要物流道路(アクセス道路)の整備推進
・(主)山形天童線(天童市成生～東根市羽入) など



▲(国)287号(東根市羽入)



▲(主)山形山辺線(山形市城西町)



▲(国)287号(長井市館町南外)

施策③ 高規格道路から県内各地へのゲートウェイとなる「道の駅」等への支援

I 取組方針

- i) 圏域の様々な観光、地域情報を発信し、各圏域内の隅々に他県からの来訪者を導くゲートウェイとなる「道の駅」等の整備促進に向けた市町村の取組を支援
- ii) 公共交通の交通結節点としての機能を持ち、多様なニーズに対応できる人が集い活気あふれる「道の駅」の機能強化を支援
- iii) 大規模災害発生時の地域の防災拠点となる「道の駅」の機能強化と防災機能の住民等への周知

II 主な取組内容

- i) 自治体による「道の駅」の新設や移転に関する取組を支援
○ゲートウェイ型「道の駅」の構想検討エリア
・最上地域 ・庄内北部地域(道の駅鳥海)
・庄内南部地域(道の駅あつみ)
○その他の「道の駅」の再整備、構想検討市町村
・大江町(道の駅おおい) など
- ii) 「やまがた道の駅ビジョン」に示す山形らしい魅力ある「道の駅」の整備・活性化を支援
- iii) 防災拠点となる「道の駅」の機能強化と防災機能の住民等への周知



▲道の駅おおい(リニューアルイメージ)
※ 町と県の一体型道の駅
※ 県は駐車場の再整備による支援

施策④ 防災・減災、県土強靱化に向けた道路の機能強化と災害発生時における対応の迅速化

I 取組方針

- i) 災害発生直後から避難・救助や物資供給等の応急活動のために緊急車両の通行を確保すべき「緊急輸送道路」や、重要物流道路とともに指定される「代替路」や「補完路」(以下、「緊急輸送道路等」という)について、道路ネットワークの強化のため、橋梁の耐震化等を優先的に実施
- ii) 道路の防災対策の推進
- iii) **県土強靱化**に向けた、災害に強い道路ネットワークの整備推進
- iv) 災害発生時における迅速かつ正確な交通規制・迂回路等の情報提供、孤立解消に向けた迅速な応急復旧等の実施

II 主な取組内容

i) 緊急輸送道路等における橋梁の耐震化・老朽橋梁対策等

- 耐震化が必要な橋梁における補強・落橋防止装置の設置
- ・(主)庄内空港立川線 両田川橋(三川町) ※ S37架設
- ・(一)五味沢小国線 飯綱橋(小国町) ※ S44架設、耐震性なしなど



▲(主)庄内空港立川線(三川町) 両田川橋架替(調査)

ii) 道路の防災対策の推進

- 重要インフラ緊急点検に基づく緊急輸送道路等の防災対策(落石防護柵、法面保護、雪崩予防柵、防雪柵、流雪溝等)
- ・(主)山形朝日線(朝日町送橋) 法面对策
- ・(一)大石田名木沢線(大石田町鷹巣) 流雪溝
- ・(国)344号(真室川町差首鍋) 雪崩予防柵
- ・(主)藤島由良線(三川町横山) 防雪柵 など
- その他の道路における防災対策、冬期間の交通安全対策

iii) **県土強靱化**に向けた、災害に強い道路ネットワークの整備・検討

- ・(主)長井飯豊線(飯豊町小白川) 大巻橋架替
- ・(国)121号(米沢市入田沢) 強靱化に向けた検討

iv) 災害発生時の情報提供、孤立解消等に向けた迅速な応急復旧



▲(主)長井飯豊線(飯豊町小白川) 大巻橋架替



▲(国)121号(米沢市入田沢) 強靱化に向けた検討

施策⑤ 人にやさしく安全・安心な道路整備に向けた多様な取組の推進

I 取組方針

- i) 子ども達の**通学路の安全確保**に向け、通学路合同点検等を踏まえ、**歩道設置やゾーン30プラス等の交通安全対策**を推進
- ii) 進行する高齢化を見据え、子どもだけではなく高齢者や障がい者にも優しい歩行空間を創出(無電柱化による障害物除去、段差解消等)
- iii) 限られた予算内で広く効果を発現できるよう、多様な交通安全対策を実施(側溝整備等による幅広路肩の整備、視認性確保のための路肩や交差点のカラーリング、植樹帯の除去による道路空間の再配分など)

II 主な取組内容

i) 法指定通学路等における歩道整備

- ・(主)大江西川線(大江町顔好)
- ・(主)尾花沢関山線(村山市楯岡新町) ※ゾーン30プラス
- ・(一)泉田新庄線(新庄市太田踏切)
- ・(国)458号(新庄市下西山踏切)
- ・(国)344号(真室川町大沢(田郎))
- ・(国)113号(高島町竹森(2)) など



▲通学路の合同点検



▲(主)大江西川線(大江町顔好) 通学路の歩道整備



▲(主)尾花沢関山線(村山市楯岡新町) 通学路の歩道整備



▲(一)泉田新庄線(新庄市太田踏切) 通学路の歩道整備(踏切拡幅)



▲(国)344号(真室川町大沢(田郎)) 通学路の歩道整備

ii) 高齢者等にも優しい歩行空間の整備

- (国)112号(酒田市本町) など

iii) その他の多様な交通安全対策

- 交差点カラーリング
- 幅広路肩、路肩カラーリングによる簡易な歩行空間確保
- 植樹帯の撤去による道路空間の再配分 など



▲(国)112号(酒田市本町) 無電柱化・歩道整備

施策⑥ 予防保全型維持管理等による計画的な道路施設の長寿命化と効率的な道路維持管理の推進

I 取組方針

- i) 高度成長期に集中的に整備した橋梁の老朽化が今後急速に進むことから、長期的な維持管理コスト縮減、予算の平準化を推進
- ii) トンネル等大型構造物について、健全性維持と第三者被害防止の観点から定期点検を実施し、効果的・効率的な維持管理を実施
- iii) 舗装、雪寒施設等の道路施設について、計画的な維持管理を実施
- iv) 建設業界においても深刻化している高齢化や担い手不足下であっても、道路の適切な日常管理や除雪、災害対応等による円滑な交通を確保するため、**AI等のデジタル技術を活用した維持管理の省力化・効率化**を推進
- v) 限られた予算の中で維持管理水準を維持するため、道路監視、維持修繕業務委託との役割分担のもと、地域や企業、NPO等の力を活かした県民協働による効率的な維持管理を実施

II 主な取組内容

i) 橋梁長寿命化

- 「山形県橋梁長寿命化修繕計画」に基づく予防保全型維持管理を推進
- ・(一)板谷米沢停車場線 相生橋(米沢市) ※ S3架設、耐震性なし
- ・(主)寒河江村山線 河北橋(河北町) ※ S41架設、耐震性なし
- ・(一)東根尾花沢線 丹生川橋(尾花沢市) ※ S29架設、耐震性なし



▲(一)板谷米沢停車場線(米沢市) 相生橋架替



▲(主)寒河江村山線(河北町) 河北橋補修・架替(調査)

ii) トンネル等大型構造物の長寿命化

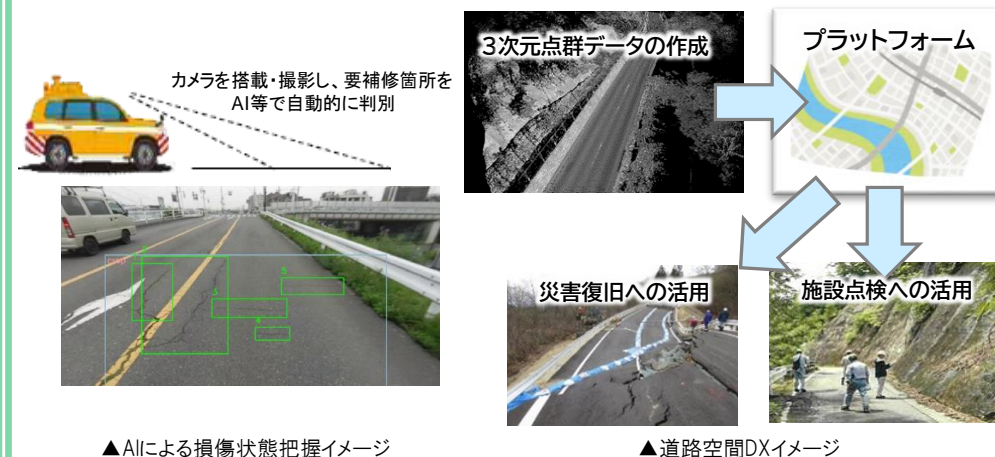
iii) 舗装や雪寒施設等の道路施設の長寿命化

● **AIによる路面の損傷状態把握等、デジタル技術を活用した効果的な舗装の維持管理**を推進

- 防雪柵・雪崩予防柵等について、定期的なパトロールにより劣化状況を把握し、効果的な維持管理を推進

iv) 道路維持管理・除雪の**AI等のデジタル技術を活用した維持管理の省力化・効率化**

- 道路空間DXの推進(3次元点群データの収集・プラットフォームの整備等)
- GPS等のデジタル技術を活用した効率的で持続可能な除雪体制の構築



▲AIによる損傷状態把握イメージ

▲道路空間DXイメージ

v) 県民協働による維持管理の推進

施策⑦ 生活圏間・都市間ネットワーク及び生活幹線道路の整備推進

I 取組方針

- i) 生活圏間・都市間の交流連携、生活関連サービスの確保、地域社会の維持等のため、一般国道や主要な県道において道路の改築・拡幅やバイパスの整備を推進（ボトルネック箇所、線形不良等の道路構造上の問題から走行性に課題のある箇所等）
- ii) 限られた予算の中で事業箇所の選択と集中を図りながら、地域の実情に応じた効率的な整備を推進（中山間地域等で交通量の少ない道路におけるすれ違い困難な箇所の部分的な拡幅や待避所の設置、対向車の確認が困難な屈曲部の視距改良など）

II 主な取組内容

i) 道路改築・拡幅、バイパス整備

- ・(国)458号(山辺町大寺)
- ・(国)287号(朝日町上郷)
- ・(国)458号(鮭川村日下)
- ・(一)米沢環状線(米沢市本町)
- ・(国)287号(白鷹町下山)
- ・(一)菅里直世下野沢線(遊佐町直世) など



▲(国)287号(朝日町上郷(2))



▲(一)菅里直世下野沢線(遊佐町直世)

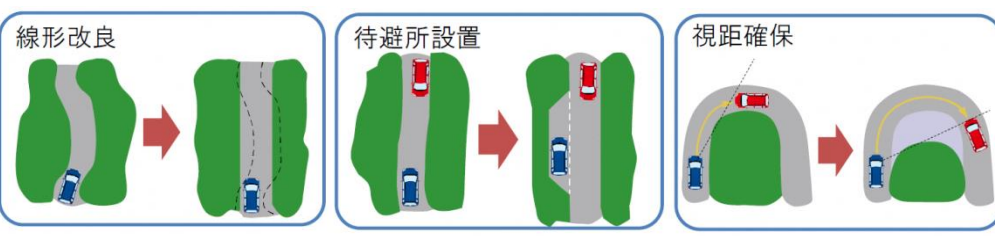
ii) 地域の実情に応じた改良

(部分的な拡幅、線形改良、視距確保、待避所設置等)

- (主)真室川鮭川線(真室川町釜淵)
- (主)米沢飯豊線(川西町菅沼峠)
- (主)玉川沼沢線(小国町玉川) など



▲(主)玉川沼沢線(小国町玉川)



▲1.5車線整備の事業メニュー



▲地域の実情に応じた道路改良の事例
(主)山形永野線(山形市土坂)の部分的な拡幅

施策⑧ 街なかに賑わいを創出するみちづくりの推進

I 取組方針

- i) 都市部における円滑な交通の確保と、豊かな公共空間・景観を備えた良好な市街地の形成を図る街路事業の整備、市町村が策定する立地適正化計画に基づき、「コンパクト+ネットワーク」の取組を推進する事業を推進
- ii) 沿線住民やインバウンドを含む観光客に親しまれる良好な景観や賑わいを創出するため、市街地における街路事業や、観光地における道路改築等を契機とした無電柱化や賑わい空間形成に向けた取組を推進
- iii) バイパスの整備、市街地部の道路拡幅や交差点改良等による渋滞対策を推進するとともに、最新データや地域の実際の交通状況を踏まえ主要渋滞箇所の見直しを実施

II 主な取組内容

i) 街路事業等(市街地における道路の拡幅等)

- ・(都)山元蔵増線(天童市交り江)
- ・(都)長井駅海田線(長井市栄町)
- ・(都)道形黄金線(鶴岡市泉町) など



▲(都)道形黄金線(鶴岡市泉町)



▲(都)山元蔵増線(天童市交り江)

ii) 無電柱化や賑わい空間形成に向けた取組

- ・(都)双月志戸田線(山形市旅籠町)賑わい空間形成検討
- ・(主)上山蔵王公園線(山形市蔵王温泉)無電柱化 など



▲(都)双月志戸田線(山形市旅籠町)



▲(主)上山蔵王公園線(山形市蔵王温泉)



▲(都)赤湯停車場線、南陽市市街地における賑わいの創出事例

iii) 渋滞対策の推進

- 街路事業、交差点改良等
- ・(一)鶴岡村上線(鶴岡市美原町)ほか
- 最新データに基づく主要渋滞箇所の見直し等

施策⑨ 山形の特徴を活かした道路ストック(施設)をかきこく使うみちづくりの推進

I 取組方針

- i) 自転車ネットワーク計画を踏まえた自転車利用環境の整備に向け、自転車通行帯としても利用できる冬季の堆雪幅を確保した“山形らしい”みちづくりを推進
- ii) 県内周遊の利便性向上、非幹線道路への大型観光バス等の進入抑制のため、県外・国外からの来訪者にも分かりやすい道路標識の整備を推進
- iii) プローブ情報を用いた渋滞対策・交通安全対策の検討及び実施

II 主な取組内容

i) 自転車ネットワーク計画を踏まえた自転車の利用環境の整備

- 道路の拡幅や歩道整備等に合わせ、積雪期以外は自転車の通行に利用できる堆雪幅を可能な限り確保
- ・(国)458号(山辺町大寺)(再掲) 地域ルート(C6)
- ・(国)287号(白鷹町下山)(再掲) 基幹ルート(K1)
- 通学路などで自転車の利用状況に応じて、路肩に矢羽根マーク等を表示
- 観光地等を周遊するモデルルート(※)等の路肩のカラーリング等の整備
- ※先進的なサイクリング環境の整備を目指すルートとして国が設定



▲(国)458号(山辺町大寺)



▲(国)287号(白鷹町下山)



▲やまがた蔵王ヒルクライムルートに設置した標石(蔵王石)



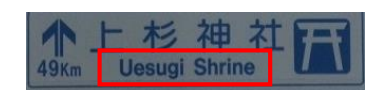
▲やまがた蔵王ヒルクライムルートのモデルルートにR5.10.24設定

ii) 分かりやすい道路標識の整備

- 交差点名標識の整備
- 既設標識の改善(ピクトグラム、高速道路ナンバリング、英語表記)
- 非幹線道路への大型車の侵入抑制



▲ピクトグラムの活用



▲英語表記の改善(Uesugi Jinja Shrineに修正)



▲高速道路ナンバリングの対応

地域のみちづくりビジョン《最上地域》

広域的な交流・連携を見据え新たな活力を生み出す「最上」のみちづくり
～ 高規格道路十字連携軸の整備促進 ～

■最上地域の概況

- ①気候・地形
 - ・全域が特別豪雪地帯に指定され、積雪が非常に多い。夏季は冷涼で、日照時間が短く、気温の日較差が大
 - ・山に囲まれた新庄盆地を中心に集落が点在している自然豊かな地域。各地に温泉が多数存在
- ②生活・文化
 - ・新庄市を中心に1市4町3村で構成。
 - ・管内町村から新庄市への就業・就学が多く、県外へは宮城県・秋田県への就業が多い
 - ・県内で人口減少・少子高齢化が顕著で、将来的な集落の存続が懸念
 - ・山形新幹線の起終点駅である「新庄駅」が立地。秋田県南地域からの玄関口
 - ・新庄市は国道13号、国道47号、JR奥羽本線、JR陸羽東・西線が交差する交通の要衝
 - ・高規格道路網の整備が最も遅れている地域で、東・西・北にミッシングリンクを有する
- ③産業・資源
 - ・産業別人口では、1位：製造業（17.5%）、2位：医療・福祉（13.5%）、3位：農業（13.4%）と、第2次、第1次産業にも高い依存度
 - ・豊かな森林資源を最大限に活かした木質バイオマスエネルギーの利活用が盛ん
 - ・代表的な観光資源には、温泉、最上川舟下り・巨木を代表とする自然景観が挙げられるが、全体として小規模かつ点在

■最上地域の今後5年間のみちづくりの方向性

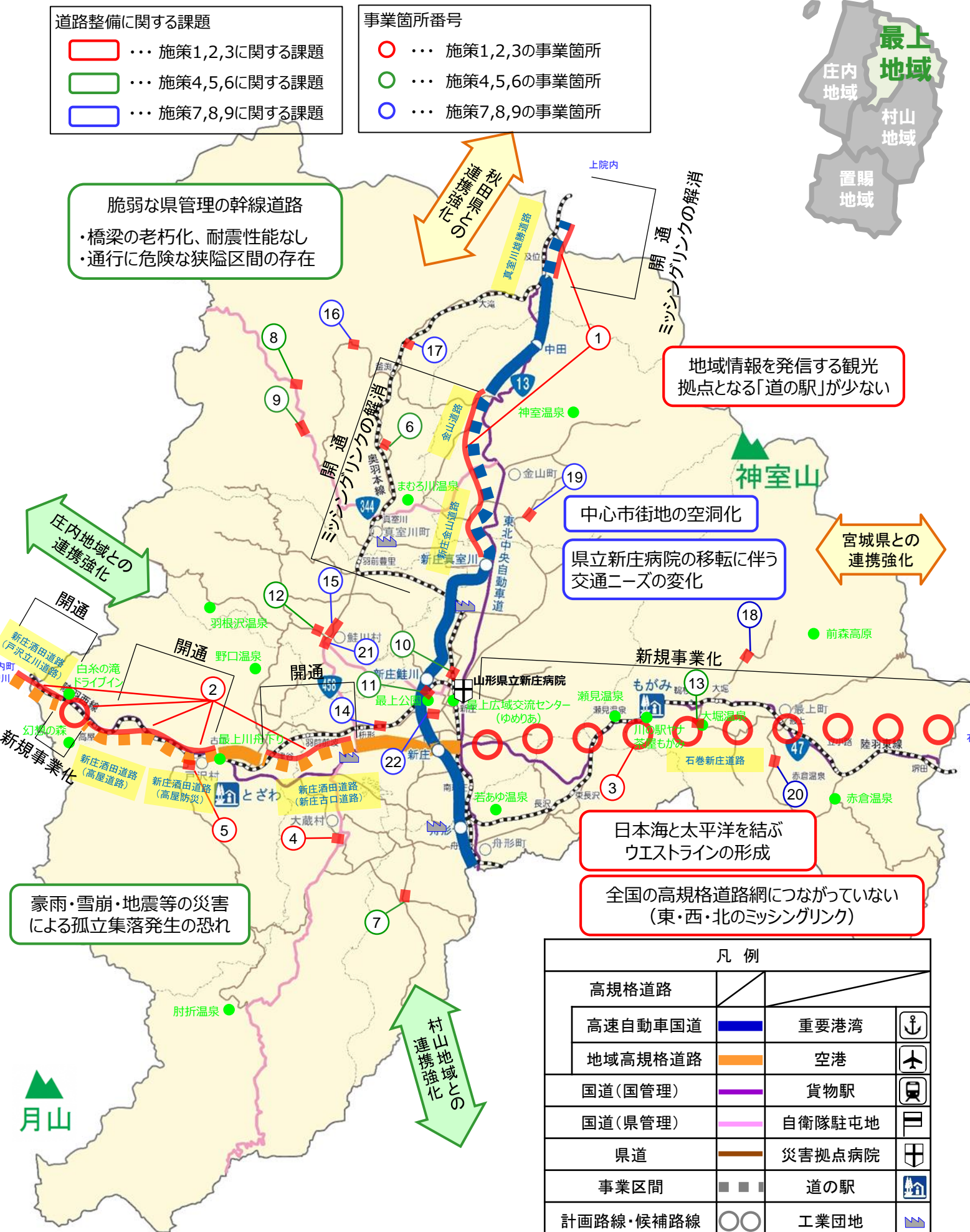
- 1 東北中央自動車道の整備促進による村山地域や秋田県との連携強化 《施策1》
- 2 新庄酒田道路の整備促進、高規格道路へのアクセス強化と石巻新庄道路の新規事業化 《施策1,2》
- 3 中山間地域における孤立集落発生の未然防止（リダンダンシー機能の確保） 《施策4,7》
- 4 多様な手法による集落内及び集落間の人にやさしい道路整備 《施策5》
- 5 観光地へのアクセス強化 《施策7》
- 6 庄内など他地域や新庄市と他の町村を結ぶ幹線道路の機能強化 《施策7》
- 7 市町村のまちづくりと連携した生活拠点に接続する市街地道路の整備、アクセス強化 《施策7,8》
- 8 ゲートウェイ機能を持つ「道の駅」の整備 《施策3》

■9つの施策の代表的な事業箇所

凡例：◆継続箇所 ◇計画期間後半の事業着手 ◎計画期間後半の調査着手

施策	事業箇所
施策1	◆① 東北中央自動車道（新庄真室川IC～秋田県境） -② 新庄酒田道路（新庄古口道路、高屋道路、高屋防災、戸沢立川道路）※左記のほか、未着手区間の新規事業化を促進 -③ 石巻新庄道路 ※新規事業化を促進 など
施策2	◆④（国）458号（大蔵村清水・本合海バイパス）改築 ◆⑤（主）戸沢大蔵線（戸沢村古口）改築 など ※アクセス先はいずれも新庄酒田道路
施策4	◆⑥（主）真室川鮭川線（真室川町川ノ内）栗谷沢橋取付 ◆⑦（主）新庄次子村山線（舟形町堀内）堀内橋架替 ◆⑧（国）344号（真室川町差首鍋）雪崩対策 など
施策5	◇⑨（国）344号（真室川町大沢（田郎））歩道 ◇⑩（一）泉田新庄線（新庄市太田踏切）歩道 ◇⑪（国）458号（新庄市下西山踏切）歩道 など
施策6	◆⑫（一）平田鮭川線（鮭川村佐渡）鮭川橋補修 ◆⑬（一）最上西公園線（最上町大堀）白山橋架替 など
施策7	◆⑭（主）新庄戸沢線（新庄市升形）改築（下馬踏切） ◆⑮（主）真室川鮭川線（鮭川村佐渡坂）改築 ◆⑯（一）砂子沢小又釜淵線（真室川町小又）改築 ◆⑰（主）真室川鮭川線（真室川町釜淵）視距改良 ◆⑱（一）東法田大堀線（最上町野頭）改築 ◇⑲（一）稲沢下野明線（金山町安沢外）改築 ◇⑲（一）稲沢下野明線（金山町安沢外）改築 ◎⑲（一）稲沢下野明線（金山町安沢外）改築 など
施策8	◆⑳（都）北本町飛田線（新庄市新町）街路

■最上地域の道路状況と課題



凡例	
高規格道路	
高速自動車国道	重要港湾
地域高規格道路	空港
国道(国管理)	貨物駅
国道(県管理)	自衛隊駐屯地
県道	災害拠点病院
事業区間	道の駅
計画路線・候補路線	工業団地
代表的な事業箇所	主な観光施設

地域のみちづくりビジョン《置賜地域》

観光・産業・文化が息づくまち「置賜」のみちづくり
～ 首都圏・隣県との連携強化と地域間交流の活性化 ～

■置賜地域の概況

- ①気候・地形
 - ・最上川の最上流・源流部にあたり、四方を奥羽山脈や吾妻連峰、飯豊山地などの山々に囲まれた盆地形状のため、一日の寒暖の差が大
 - ・全ての市町が特別豪雪地帯に指定
 - ・昭和42年に発生した羽越水害及び令和4年8月の大雨災害等で小国町が孤立。また令和4年8月の大雨では、国道113号や国道121号が通行止めにより、広域迂回を余儀なくされた
- ②生活・文化
 - ・大きく東南置賜と西置賜の2つの地域により構成され、歴史・文化的には米沢（上杉）藩として一体性を有する
 - ・東南置賜の各市町からは米沢市へ、西置賜の各町からは長井市へ通勤・通学する人が多く、荒川上流域に位置する小国町では新潟県との交流が盛ん
 - ・米沢市は国道13号、国道113号、国道121号、JR奥羽本線、JR米坂線が交差する交通の要衝
- ③産業・資源
 - ・東北でも冠たる技術をもつ情報通信関係企業の生産工場、下請け企業が集積し、有機エレクトロニクスの研究拠点となる山形大学が立地するなど力強い産業が根を張る地域
 - ・磐梯朝日国立公園などの優れた自然景観と、イザベラ・バードに「東洋のアルカディア」と称された豊かな田園地域が広がり、数多くの温泉や、伊達氏、上杉氏の史跡や花回廊など多くの観光資源を有する地域
 - ・全国に知られている高いブランド力を持つ米沢牛やブドウ、ラ・フランスなど果樹の産地
 - ・東北中央自動車道が開通し、沿線の八幡原中核工業団地や米沢オフィス・アルカディアなどへ企業立地が進行し、ゲートウェイ機能を持つ道の駅「米沢」を中心に観光客が増加するなど交流人口が拡大

■置賜地域の今後5年間のみちづくりの方向性

- 1 高規格道路（新潟山形南部連絡道路（梨郷道路・小国道路ほか）の整備促進 《**施策1**》
- 2 高規格道路網の連絡道路の整備促進およびアクセス向上 《**施策2**》
- 3 生活圏の生命線である緊急輸送道路等の橋梁架替、長寿命化 《**施策6**》
- 4 地域内の生活道路の交通安全対策等の機能強化 《**施策5**》
- 5 市町のまちづくり等と連携した中心市街地の活性化及び渋滞緩和対策 《**施策8**》
- 6 中山間地域における孤立集落発生の未然防止のための災害や豪雪に強い道路整備 《**施策4,7**》
- 7 生活圏間・都市間ネットワークを形成する幹線道路の機能強化 《**施策7**》
- 8 観光地における良好な景観の創出 《**施策8**》

■9つの施策の代表的な事業箇所 凡例：◆継続箇所 ◇計画期間後半の事業着手 ◎計画期間後半の調査着手 ※各施策の事業箇所については調整中

施策1	-① 新潟山形南部連絡道路（小国～飯豊間） ※新規事業化を促進 -② 新潟山形南部連絡道路（小国町松岡～長井市今泉（小国～飯豊間除く）） ※新規事業化を促進 など
施策2	◆③（国）287号（米沢川西バイパス）改築 ◆④（国）287号（川西バイパス）改築 ◎⑤（国）287号（長井市館町南外）渋滞対策 など ※アクセス先はいずれも新潟山形南部連絡道路
施策4	◆⑥（主）長井飯豊線（飯豊町小白川）大巻橋架替 ◇⑦（一）五味沢小国線（小国町小国小坂町）飯綱橋架替 ◎⑧（国）121号（米沢市入田沢）強靱化検討 など
施策5	◆⑨（国）287号（白鷹町菅蒲（1））歩道 ◆⑩（国）113号（高畠町深沼）歩道・交差点改良 ◆⑪（主）長井飯豊線（飯豊町小白川）歩道 ◇⑫（国）113号（高畠町竹森（2））歩道 など
施策6	◆⑬（主）長井白鷹線（白鷹町鮎貝～荒砥）荒砥橋架替 ◇⑭（一）板谷米沢停車場線（米沢市大町）相生橋架替 など
施策7	◆⑮（主）山形南陽線（南陽市板宮）改築 ◇⑯（一）米沢環状線（米沢市本町）改築 ◆⑰（主）米沢飯豊線（川西町菅沼峠）改築（待避所等） ◇⑱（主）玉川沼沢線（小国町玉川）待避所 ◎⑲（国）287号（白鷹町下山）改築 など
施策8	◆⑳（都）赤湯停車場線（南陽市二色根）街路 ◆㉑（都）長井駅海田線（長井市栄町）街路 など

■置賜地域の道路状況と課題

- 道路整備に関する課題
- … 施策1,2,3に関する課題
 - … 施策4,5,6に関する課題
 - … 施策7,8,9に関する課題
- 事業箇所番号
- … 施策1,2,3の事業箇所
 - … 施策4,5,6の事業箇所
 - … 施策7,8,9の事業箇所



凡例	
高規格道路	重要港湾
高速自動車国道	空港
地域高規格道路	貨物駅
国道(国管理)	自衛隊駐屯地
国道(県管理)	災害拠点病院
県道	道の駅
事業区間	工業団地
計画路線・候補路線	代表的な事業箇所
主要な観光施設	

地域のみちづくりビジョン 《庄内地域》

自然・文化・歴史をまもり地域産業をいかす「庄内」のみちづくり ～ 日本海沿岸地域と太平洋側を結ぶネットワークの形成 ～

■庄内地域の概況

- ①気候・地形
 - ・内陸部に比べ温暖で雪は少ないが、年間を通じて風が強く、冬場は、北西からの季節風による地吹雪が発生
 - ・日本海に面する沿岸部、最上川や赤川等が流れる平野部、月山・鳥海山等を頂とする中山間部の3種の地形からなる
- ②生活・文化
 - ・鶴岡・酒田の人口規模県内2位・3位の大きな都市を中心に、庄内南部、庄内北部の生活圏を形成
 - ・北前船、最上川舟運、山岳信仰等により形成された独自の文化圏であり、古くから内陸との連携や、隣県（秋田県、新潟県）との交流・連携が盛ん
- ③産業・資源
 - ・国際的に評価の高い観光資源（日本遺産の「出羽三山」「北前船寄港地」「サムライゆかりのシルク」、ユネスコ無形文化財「あまはげ」、ユネスコ食文化創造都市等）を活用して、庄内地域を中心に、秋田県から新潟県までの複数の観光地が連携した滞在型観光を目指し、国際競争力の高い魅力ある観光地づくりを推進
 - ・インバウンド需要を取り込むため、庄内空港と酒田港の機能強化を図り、航空チャーター便・外航クルーズ船の誘致を推進
 - ・酒田港における「洋上風力発電の拠点となる港湾の整備」及び「再生可能エネルギー・次世代エネルギー利用等の港湾脱炭素化」に向けた取組みの推進
 - ・リサイクルポートに関連した環境関連産業が集積、近年は庄内空港を利用する電子部品・デバイス産業が躍進
 - ・山形大学農学部、東北公益文科大学、慶応義塾大学先端生命科学研究等々の充実した高度教育・研究機関を軸に地域活性化を推進
 - ・全国有数の米どころであるとともに、岩ガキや、だだちゃ豆・庄内豚等の海・農・畜産物も豊富

■庄内地域の今後5年間のみちづくりの方向性

- 1 日本海沿岸東北自動車道の整備促進・ミッシングリンクの解消に合わせた他地域との連携強化 《**施策1**》
- 2 山形自動車道及び高規格道路（新庄酒田道路）の未整備区間の新規事業化 《**施策1**》
- 3 地域の生命線である最上川等に架かる長大橋等の更新・長寿命化 《**施策4,6**》
- 4 高規格道路から酒田港等の拠点施設や観光地へのアクセス機能強化 《**施策2,4,7**》
- 5 地吹雪対策などによる冬期間の交通安全の確保 《**施策4**》
- 6 地域内の幹線道路の整備や生活道路等の交通安全対策など環境改善 《**施策5,7,8**》
- 7 市町のまちづくり事業等と連携した都市内道路ネットワークの整備推進 《**施策8**》
- 8 最上地域とを結ぶ交流基盤の強化 《**施策4**》
- 9 ゲートウェイ機能を持つ「道の駅」等への支援 《**施策3**》
- 10 災害や豪雪に強い道路整備による中山間地域における孤立集落発生への未然防止 《**施策4**》

■9つの施策の代表的な事業箇所

凡例：◆継続箇所 ◇計画期間後半の事業着手 ◎計画期間後半の調査着手

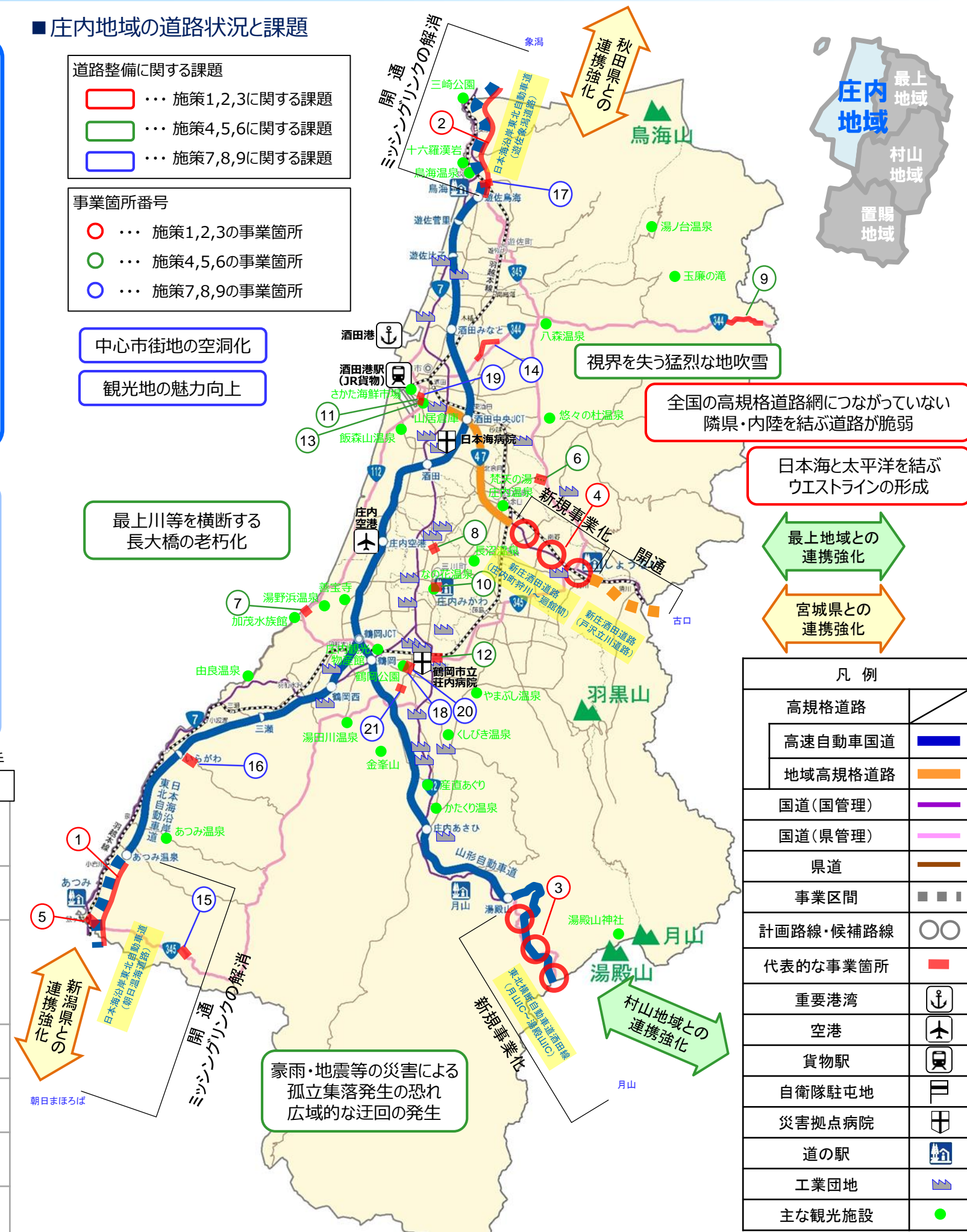
施策	事業箇所	備考	
施策1	◆① 日本海沿岸東北自動車道（新潟県境～あつみ温泉IC）	※各施策の事業箇所については調整中	
	◆② 日本海沿岸東北自動車道（遊佐鳥海IC～秋田県境）		
	-③ 東北横断自動車道酒田線（山形自動車道 月山IC～湯殿山IC）		※新規事業化を促進
	-④ 新庄酒田道路（庄内町狩川（立川）～廻館（余目）間）		※新規事業化を促進
施策2	◇⑤（国）345号（鶴岡市鼠ヶ関）改築 <日治道> など	※<アクセス先>	
施策4	◆⑥（一）余目松山線（庄内町堤興屋～酒田市竹田）庄内橋架替		
	◆⑦（国）112号（鶴岡市金沢）金沢陸橋架替		
	◎⑧（主）庄内空港立川線（三川町猪子）両田川橋架替		
	◆⑨（国）344号（酒田市北青沢）雪崩対策 ◆⑩（主）藤島由良線（三川町横山）防雪柵 など		
施策5	◇⑪（国）112号（酒田市本町）歩道 など		
施策6	◆⑫（国）345号（鶴岡市大宝寺）三川橋補修		
	◆⑬（国）112号（酒田市本町）実生橋架替 など		
施策7	◆⑭（国）344号（酒田市安田）安田バイパス	◆⑮（国）345号（鶴岡市平沢（1））改築	
	◆⑯（主）菅野代壱吾沢線（鶴岡市山五十川（1））改築		◎⑰（一）菅里直世下野沢線（遊佐町直世）改築 など
施策8	◆⑱（都）道形黄金線（鶴岡市馬場町（1））街路	◆⑲（都）本町東大町線（酒田市本町（1））街路	
	◇⑳（都）道形黄金線（鶴岡市泉町）街路		◎㉑（一）鶴岡村上線（鶴岡市美原町）交差点改良 など

■庄内地域の道路状況と課題

- 道路整備に関する課題
- … 施策1,2,3に関する課題
 - … 施策4,5,6に関する課題
 - … 施策7,8,9に関する課題

- 事業箇所番号
- … 施策1,2,3の事業箇所
 - … 施策4,5,6の事業箇所
 - … 施策7,8,9の事業箇所

- 中心市街地の空洞化
- 観光地の魅力向上



凡例	
高規格道路	■
高速自動車国道	■
地域高規格道路	■
国道(国管理)	■
国道(県管理)	■
県道	■
事業区間	■
計画路線・候補路線	○
代表的な事業箇所	■
重要港湾	■
空港	■
貨物駅	■
自衛隊駐屯地	■
災害拠点病院	■
道の駅	■
工業団地	■
主な観光施設	●

令和5年度 第2回山形のみちづくり評議会 議事要旨

■ 日時・場所

令和6年1月16日（火）14:00～15:30（山形県自治会館4階401号会議室、WEB併用）

■ 出席委員

柴田会長、貝山委員、塩原委員(WEB)、宮原委員、鈴木委員(WEB)、工藤委員(WEB)、宇留野委員、森田委員、小林委員 9名

■ 議事概要

議題 山形県道路中期計画2028の見直しについて

（事務局説明）

- ・ 山形県のみちづくりを取巻く現状、計画策定後に顕在化した課題、R5第1回山形のみちづくり評議会での意見や県政アンケートの結果等を反映した、山形県道路中期計画2028改訂版（原案）の概要版を提示した。
- ・ 今年度実施した県政アンケートの結果では、重要だと考える施設に「道路」を選んだ回答が最も多かった。また、優先的に推進してほしい道路施策については、「自然災害に強い道路の整備」、「通学路や交差点などの交通安全対策」、「橋やトンネルなど道路施設の老朽化対策」の順に回答が多かった。

➡山形県道路中期計画2028の見直しについて委員より意見をいただいた。

■ 令和5年度 第2回 山形のみちづくり評議会における主な意見

議題について、以下のような意見が挙げられた。

議題 山形県道路中期計画 2028 の見直しについて

- ・ 各施策の主な取組内容に掲載する実施事業例等の写真は、課題を的確に表現している写真の選定や、補足説明を追記する等の工夫をした方がよりわかりやすい。
- ・ 山形県のみちづくりを取巻く現状・社会的な背景に掲載している「少子高齢化を伴う人口減少の加速」、「産業の動向」、「社会保障関係費の増によるインフラ投資の圧縮」については、対応する施策がわかりづらいため表現の工夫が必要と考えられる。
- ・ 施策①の対面2車線で暫定供用区間の高規格道路における正面衝突事故防止対策については、ワイヤロープの設置に不向きなトンネルや長大橋梁における安全性を高める検討が必要だと考えられる。
- ・ 施策④の県土強靱化に向けた、災害に強い道路ネットワークの整備推進について、今年1月1日に発生した能登半島地震も踏まえ、ここ数年で緊急性をもって整備する箇所をクローズアップしても良い。
- ・ 大雨や地震時には、トンネルの坑口周辺法面等も被災する可能性があるため、そのような箇所の把握、GPSを活用したモニタリング、対策等についても引き続き検討するとよい。
- ・ 道路が通行止めになることで、集落が孤立してしまうところは本県にもいくつかあるため、ヘリコプターが離着陸可能な場所を確保するなど、道路以外でのアクセス手段についても考えていく必要があると考える。
- ・ 施策⑥の効率的で持続可能な維持管理に関する取組については、山形県とNEXCOで知見や技術の情報交換を行いながら実施することでより効果的になると考えられる。
- ・ 施策⑧の道路におけるにぎわい創出については、今後重要な視点となる。既存道路を活用したイベント開催によるにぎわい創出もちろん重要であるが、イベント開催を想定した道路整備の視点も検討いただきたい。
- ・ 山形県には美しい景色が多いため、自転車道整備をはじめとした道路のハード対策がそれぞれのまちづくり及び地域性と合致する形で、ソフト対策が活きるまちづくりを進めていただきたい。
- ・ 道路交通情報に加えて観光情報等のプッシュ型情報発信をスマートフォンなどの情報端末機器を活用し、推進しても良いのではないかと。
- ・ 最近では外国人観光客も回復傾向にあり、道路標識等の多言語表記の推進が重要だと感じている。

以上